

近鉄奈良駅地上駅

昭和 43 年 写真提供：吉田守氏



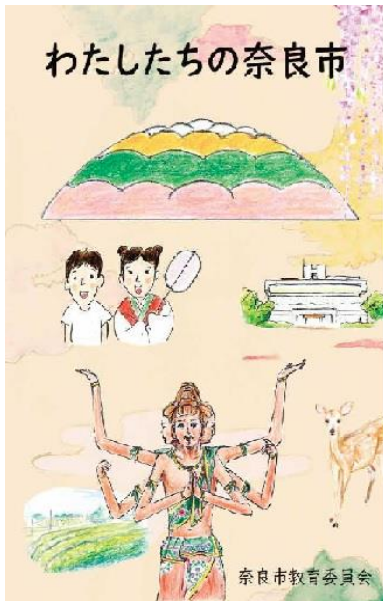
開校当時の鶴舞小学校

昭和 40 年 撮影：木村守男氏



奈良市教育委員会

『わたしたちの奈良市』小学校社会科副読本 令和 2 年 (2020) 4 月 1 日発行



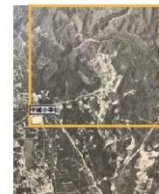
4 奈良市のようすのうつりかわり

みさとさんたちは、同じ場所でさつえいされた3まいの写真を見て、話し合いました。



そこで、奈良市の地図を見て、今の奈良市とくらべることにしました。

土地利用のうつりかわり



▲1960年ごろの平城第二団地地区のようす



▲現在の平城第二団地地区のようす

ここは平城ニュータウンとよばれたようだ。

西奈良は、大阪や京都に近く、電車で30分ぐらいです。そこでは、もとは森林だったところを大規模に開発し、団地やマンション、住たくが次々にたてられ、大阪や京都などへ通勤、通学する人がたくさん奈良市にひっこしてきました。

その後、南奈良でも、田畑やため池であったところがたく地にわり、さらに人口がふえていきました。



▲1970年、山を住たくにしている平城ニュータウンのようす

▲1973年にできた高の原駅の近く

公共しせつのうつりかわり



▲1965年にできたあやめ池小学校



▲1965年にできた鶴舞小学校

奈良市の小学校数のうつりかわり

1922年	5校
1942年	7校
1962年	2.7校
1982年	4.2校
2002年	4.4校
2018年	4.3校

西奈良の人口がふえて、次々に新しく学校が作られました。また、公民館などもふえていきました。奈良のまちにあった市役所や郵便局は、新大宮駅の近くうつり、一つしかなかったけいさつ署や図書館は、西奈良にもできることになりました。



▲奈良のまちにあったころの市役所



▲奈良のまちにあったころの郵便局

交通のうつりかわり



▲道路に線路があった近鉄奈良駅の近く



▲新大宮駅

1969年まで、近鉄奈良駅は地上にありました。それまでは、道路に線路があり、電車と自動車がいっしょに走っていました。しかし、交通量がふえたこともあり、線路を地下にうつすことになりました。それとともに油阪駅がなくなり、新しく新大宮駅ができました。2006年には、けいはんな線が開通し、さらにべんりになりました。

また、阪奈道路や第二阪奈道路ができるなど、広い道路がふえていきました。とくに、1977年に現在の国道24号線ができることには、平城宮跡のある場所を高架にして、わざわざ道路を曲げて文化財を守るくふうをしました。



▲1958年に開通した阪奈道路



▲平城宮跡で大きく曲がる国道24号線